

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック										
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング					
1	Title	タイトル	dc:title		TRUE	M	1-N	コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報必ず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	タイトル情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:titleの出現回数は1回までとする。優先度の高い言語表記の順に記入する。目次タイトル、奥付タイトル等がある場合は、dcterms:alternative (その他のタイトル) に記入する。コンテンツが図書の一部 (章など) である場合、dc:title (タイトル) には章などのタイトルを記入し、図書全体のタイトルはjpcoar:relation (関連) に記入する。ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"とし、片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基礎構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">ジョヨホフ バクハツ シダイ ノケンキョウ 半バン コウソク</dc:title> <dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> <dc:title xml:lang="zh-cn">“如果”句的反复表达浅析</dc:title>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <dc:title>情報爆発時代の研究基礎構想</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基礎構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dc:title xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dc:title> 同一言語指定の要素を繰り返してはならない。 <dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基礎構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>	dc:title									①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)	③要素がない。 ②xml:langが重複している。 (xml:langがない場合も含む) ③xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。	①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない。 ②1つ目のデータのxml:langが13 dc:language と異なる。(コードの違いを考慮)
2	Alternative Title	その他のタイトル	dcterms:alternative		TRUE	MA	0-N	目次タイトル、奥付タイトル等の本タイトル以外のタイトルを記入する。	その他のタイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。各言語コードのdcterms:alternativeの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。本タイトルの別言語のタイトルはdc:title (タイトル) に記入する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dcterms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dcterms:alternative> <dcterms:alternative xml:lang="ja-Kana">データ マイニング シセダイサーチ ナド ノケンキョウ</dcterms:alternative>	複数言語の並列表記は推奨しない。 <dcterms:alternative xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基礎構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dcterms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dcterms:alternative xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dcterms:alternative>	dcterms:alternative						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)	③14 dc:type=thesis bachelor thesis master thesis doctoral thesis のとき、要素が存在しない。	①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない。			
3	Creator	作成者	jpcoar:creator		-	MA	0-N	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。	学位論文の場合は必ず入力する。複数の著者が存在する場合は、第一著者から順に記入する。	<jpcoar:creator> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:creator>		jpcoar:creator						①14 dc:type=thesis bachelor thesis master thesis doctoral thesis のとき、要素が存在しない。							
3.1	Creator Name Identifier	作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	作成者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 、30413925 (e-Rad) 、0000000378057894 (ISNI) ) 。 nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。	jpcoar:nameIdentifierの値は読解等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	jpcoar:nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0002-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID										①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照)			
			nameIdentifierScheme		FALSE	M	1	nameIdentifierURIにはHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nii.ac.jp/nid/100030413925) (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000378057894 (ISNI) http://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF) ) 。																	
			nameIdentifierURI		FALSE	MA	0-1															①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)			
3.2	Creator Name	作成者姓名	jpcoar:creatorName		TRUE	MA	0-N	作成者の姓名を記入する。個人名の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空白) とする。英語表記のファーストネームが不明な場合は頭文字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:creatorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役職、補記は記入しない。監修者や指導者のような間接的な役割の者はjpcoar:contributor (寄与者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版物) を使用する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName>	langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:creatorName>夏目 漱石</jpcoar:creatorName>	jpcoar:creatorName						①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)	①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:lang が存在しない。				
3.3	Family Name	作成者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	作成者の姓を記入する。作成者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName>		jpcoar:familyName								①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①familyNameがあって、creatorNameがない。				
3.4	Given Name	作成者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName>		jpcoar:givenName								①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①givenNameがあって、creatorNameがない。				
3.5	Creator Alternative	作成者別名	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	O	0-N	作成者に別名がある場合、その名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative>		jpcoar:creatorAlternative							①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)	①creatorAlternativeがあって、creatorNameがない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック									
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング				
3.6	Affiliation	作成者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	作成者の所属する機関名。		<jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation>		jpcoar:affiliation												
3.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一義に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 000000012192178X (ISNI) 、 12601 (kakenhi) ) 。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi - ISNI - Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。 URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: http://www.isni.org/isni/0000000121691048 (ISNI) https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d (GRID) ) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000121691048</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角			①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。					
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1						nameIdentifierScheme				①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			③語彙が存在しない。					
			nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1						nameIdentifierURI				①全角 -> 半角			④URI形式チェック。 ⑤語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)					
3.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>		jpcoar:affiliationName			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		③xml:langが重複している。 ④xml:langが語彙に存在しない。 ⑤xml:lang属性のみ非登録になる						
4	Contributor	寄与者	jpcoar:contributor		-	R	0-N	コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または団体等。 contributorTypeには適切な役割を以下の統制語彙から選択して記入する。該当する役割がない場合は、"other"を選択する。 - ContactPerson - DataCollector - DataCurator - DataManager - Distributor - Editor - HostingInstitution - Producer - ProjectLeader - ProjectMember - RelatedPerson - Researcher - ResearchGroup - Sponsor - Supervisor - WorkPackageLeader - Other	jpcoar:contributorの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:contributorを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:contributor contributorType="Editor"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">12601</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:contributor>		jpcoar:contributor												
			contributorType	FALSE	R	0-1							contributorType			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			③語彙が存在しない。					
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1							nameIdentifierScheme			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			③語彙が存在しない。					
4.1	Contributor Name Identifier	寄与者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	寄与者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID) 、 30413925 (e-Rad) 、 0000000378057894 (ISNI) ) 。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。 URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nii.ac.jp/nii/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF) ) 。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier>https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>		jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角								
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1								nameIdentifierScheme			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			③語彙が存在しない。				
			nameIdentifierURI	FALSE	MA	0-1								nameIdentifierURI			①全角 -> 半角			④URI形式チェック。 ⑤語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)				
4.2	Contributor Name	寄与者姓名	jpcoar:contributorName		TRUE	R	0-N	寄与者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記のファーストネームが分からない場合は漢字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓△ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回までとする。苗字や姓、通称は記入しない。著者や翻訳者等のような適切な役割の者はjpcoar:creator (作成者) を使用する。出版者はdc:publisher (出版者) を使用する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:contributorName>山田, 一郎</jpcoar:contributorName>	jpcoar:contributorName			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		③xml:langが重複している。 ④xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ⑤xml:lang="ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ⑥xml:langが語彙に存在しない。 ⑦xml:lang属性のみ非登録になる	③xml:langが存在しない。					
4.3	Family Name	寄与者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	寄与者の姓を記入する。寄与者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName>		jpcoar:familyName			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		③xml:langが重複している。 ④xml:lang="ja-Kana"である。 ⑤xml:lang="ja-Latin"である。 ⑥xml:langが語彙に存在しない。 ⑦xml:lang属性のみ非登録になる	①familyNameがあって、contributorNameがない。					
4.4	Given Name	寄与者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	寄与者の名を記入する。寄与者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName>		jpcoar:givenName			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		③xml:langが重複している。 ④xml:lang="ja-Kana"である。 ⑤xml:lang="ja-Latin"である。 ⑥xml:langが語彙に存在しない。 ⑦xml:lang属性のみ非登録になる	①givenNameがあって、contributorNameがない。					
4.5	Contributor Alternative	寄与者別名	jpcoar:contributorAlternative		TRUE	O	0-N	寄与者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注視点jpcoar:contributorName (寄与者姓名) に準じる。各言語の出現回数は1回に限る。複数記入可とする。	ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。			jpcoar:contributorAlternative			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		③xml:langが重複している。 ④xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ⑤xml:lang="ja-Latin"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ⑥xml:langが語彙に存在しない。 ⑦xml:lang属性のみ非登録になる	①contributorAlternativeがあって、contributorNameがない。					

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック									
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入し べし	繰返回 数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング				
4.6	Affiliation	寄与者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	寄与者の所属する機関。					jpcoar:affiliation											
4.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 00000012192178X (ISNI)、12601 (kakenhi))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。- kakenhi - ISNI - Ringgold - GRID。nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: http://isni.org/isni/000000121691048 (ISNI) https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d (GRID))。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">12601</jpcoar:nameIdentifier>			jpcoar:nameIdentifier		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	nameIdentifierScheme	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	①全角 -> 半角				①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。		
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換														③語彙が存在しない。			
			nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1	①全角 -> 半角														①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)			
4.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階級の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。		<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>		jpcoar:affiliationName			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)						
5	Access Rights	アクセス権	dcterms:accessRights		FALSE	MA	0-1	コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限有り。	コンテンツのライセンスに関する情報はdcterms:rights (権利情報) を参照する。[embargoed access] の場合は、datacite:date (日付)のdateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	<dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_1f1c">embargoed access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_16ec">restricted access</dcterms:accessRights>	embargoed access metadata only access restricted access open access	dcterms:accessRights		embargoed access metadata only access restricted access open access	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙が存在しない。						
			rdf:resource	FALSE	M	1	①語彙に対応したURIを出力 (語彙別表参照)																	
6	APC	APC	rioxterms:apc		FALSE	O	0-1	オリジナルのコンテンツに関連するAPCの状態。以下の語彙から選択する。 - Paid: 支払済み - Fully waived: 全て免除 - Not required: 不要 - Partially waived: 一部免除 - Not charged: 無料 - Unknown: 不明	APCの価格を記入しない。	<rioxterms:apc>Paid</rioxterms:apc>	APCの価格を記入しない。 <rioxterms:apc>\$3,000</rioxterms:apc>	Paid Partially waived Fully waived Not charged Not required Unknown							①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①語彙が存在しない。			
7	Rights	権利情報	dc:rights		TRUE	R	0-N	コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的財産や著作権等に関する情報を含む。ライセンス情報を記入する際にはライセンスの正式名とバージョン情報を記入する (例: Creative Commons Attribution 4.0 International)。その他の場合は、自由記述とするが、出版者の権利者からの指定がある場合は、その指示に従う。ライセンスにURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で記入し、再刊用の条件を明示することを推奨する (例: https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en)。	ライセンス情報は短縮形で記入しない。各言語コードのdc:rightsの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:rights xml:lang="en" rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://doi.org/10.1145/123456789</dc:rights>	dc:rights		dc:rights	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)							
			rdf:resource	FALSE	R	0-1	①全角 -> 半角									①URI形式チェック。								
8	Rights Holder	権利者情報	jpcoar:rightsHolder		-	R	0-N	作成者および寄与者以外の著作権等の権利保持者を記入する。		<jpcoar:rightsHolder> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName> </jpcoar:rightsHolder>		jpcoar:rightsHolder												
8.1	Rights Holder Name Identifier	権利者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	権利者を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID)、30413925 (e-Rad)、000000378057894 (ISNI))。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。- e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nli.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/000000082849737 (ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF))。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/00000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	jpcoar:nameIdentifier		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	nameIdentifierScheme	①全角 -> 半角			①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。					
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換																	
			nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1	①全角 -> 半角												①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)					
8.2	Rights Holder Name	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	0-N	記述方法はjpcoar:creatorName (作成者姓名) に準じる。		<jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName>		jpcoar:rightsHolderName			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)	①xml:langが存在しない。					

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング					正規化		エラーチェック									
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング						
9	Subject	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を表す符名。著者キーワード、分類を記入する。分類はコードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 - BSH - DDC - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDLCC - NDLCSH - ScVal - UDC - Other。	著者キーワードの例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="Other">情報化社会</jpcoar:subject> ヨミ記入の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ジョウボウカ シャカイ</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndsh/01009109">社会情報学</jpcoar:subject>			BSH DDC LCC LCSH MeSH NDC NDLCC NDLSH ScVal UDC Other	jpcoar:subject			①全角 -> 半角 (英数字のみ) (要素) ②全角 -> 半角 (xml:langのみ) ③語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)				①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる) ②subjectSchemeが存在しない。 ③subjectSchemeの語彙に存在しない。 ④subjectSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照)					
				subjectScheme	FALSE	M	1	subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない(例: https://id.ndl.go.jp/auth/ndsh/00575529)。	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合 subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードの jpcoar:subject の出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。				subjectScheme			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換										
				subjectURI	FALSE	MA	0-1								subjectURI			①全角 -> 半角				①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。(語彙別表参照)				
10	Description	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を示す情報を記述する。データについては、技術的な情報等、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。descriptionTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ず descriptionTypeを指定する。各言語コードの datacite:descriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。		descriptionTypeを省略してはならない。 <datacite:description xml:lang="ja">国立情報学研究所が提供する「利用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまJAIRO Cloudを数多くに日本の機関リポジトリを統合している。本報では、主としてこのJAIRO Cloudについて、主としてシステム基盤の構築の経緯について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の構築が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共有リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 寛士, 高橋 菜奈子, 山地 一誠. システム基盤としての JAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.	descriptionType	FALSE	M	1	Abstract Methods TableOfContents TechnicalInfo Other	datacite:description			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる) ②descriptionTypeが存在しない。 ③descriptionTypeの語彙に存在しない。		
				descriptionType	FALSE	M	1							descriptionType			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換									
11	Publisher	出版者	dc:publisher		TRUE	MA	0-N	コンテンツ本体を公開した主体を記入する。名称が複数言語ある場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。個人名については「姓.△名」とする。肩書きは記入しない。	略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。役割等の補助的な情報は記入しない。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。		<dc:publisher>東京</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>	出版者は記入しない。 <dc:publisher>東京</dc:publisher> 印刷者や製本者は記入しない。 <dc:publisher>鹿島印刷</dc:publisher> 機関の変遷前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 <dc:publisher xml:lang="ja">日本建築学会</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">建築学会</dc:publisher>	dc:publisher			①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	①言語コードの変換 (xml:langのみ)			①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)						
12	Date	日付	datacite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はISO-8601で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。dateTypeには以下の統制語彙から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	Issued (発行日) がある場合は記入必須。その他の日付は関連する情報がなければ必ず記入する。役割等の補助的な情報は記入しない。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。		発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンバコ終了後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datacite:date dateType="Issued">19--</datacite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	dateType		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①日付の正規化			①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ④MM-DDの妥当性チェック。(閏年含む)	①accessRights=embargoed accessのとき、dateType=Availableのdate要素が存在しない。					
				dateType	FALSE	M	1							dateType			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換									
13	Language	言語	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い言語の順に記入する。	コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language> コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>	ISO 639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dc:language>engjpn</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language>en g</dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>	dc:language			①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換			①語彙に存在しない。							
14	Resource Type	資源タイプ	dc:type		FALSE			学術雑誌論文の例 <dc:type> rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type> rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departmental bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type> rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type> rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_dbb1">dataset</dc:type> 記事の例 <dc:type> rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article</dc:type>	departmental bulletin paper (紀要論文) および article (記事) は、journal article (学術雑誌論文) のURIを記入する。	resourceTypeを省略してはならない。 <dc:type>departmental bulletin paper</dc:type>	資源タイプ語彙別表参照	dc:type			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①要素がない。 ②語彙に存在しない。(資源タイプ語彙別表参照) ③doctoral thesisのとき、NDL博士論文提出チェックへ(別掲)								
				rdf:resource	FALSE	M	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙別表から選択して記入する。rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Resource Type (http://vocabularies.coar-repositories.org/documentation/resource_types/) のURIを記入する。					resourceType			①語彙に対応したURIを出力(資源タイプ語彙別表参照)										

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック							
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベ	繰返回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング		
15	Version	バージョン情報	datacite:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。*メジャーバージョン番号"マイナーバージョン番号"の形式で記入する。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報)に旧バージョンとの関係性を記述する。論文のバージョン情報についてはoaire:version (出版タイプ)を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>	<datacite:version>ver 1.2</datacite:version>		datacite:version			①全角 -> 半角				①[0-9]+*.[0-9]+以外の形式である。(数字)ピリオド[数字]の組み合わせ以外エラー)		
16	Version Type	出版タイプ	oaire:version		FALSE	MA	0-1	論文のバージョン情報を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - AO: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VoR: Version of Record - CVoR: Corrected Version of Record - EVoR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown) □	論文の場合、必ず記入する。データのバージョン情報についてはdatacite:version (バージョン情報)を使用する。	著者最終稿 (査読後、最終的に出版社に受理された原稿) の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4af688f83e57aa">AM</oaire:version> 出版社版の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970fb484fd8a85">VoR</oaire:version>		AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	oaire:version		AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙に存在しない。	①doctype=journal articleのとき、oaire:versionが指定されていない。	
					rdf:resource	FALSE	M	1							rdf:resource			①語彙に対応したURIを出力 (語彙別表参照)				
17	Identifier	識別子	jpcoar:identifier		FALSE	MA	0-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: https://doi.org/10.18926/AMO/54590 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL) http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 (URI) )。IdentifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - DOI - HDL - URI	リポトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版社版等のDOIはjpcoar:relation (関連情報)に記入する。JalC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifier (識別子) だけでなく、jpcoar:identifierRegistration (IR登録、ID種別) に登録するDOIを"prefix/suffix"形式で記入する。datacite:identifierを記入する場合、必ずIdentifierTypeを指定する。	<jpcoar:identifier IdentifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcoar:identifier>		DOI HDL URI	jpcoar:identifier			①全角 -> 半角				①要素がない。 ②IdentifierTypeが存在しない。 ③IdentifierTypeの語彙に存在しない。 ④URI形式チェック ⑤jpcoar:identifierRegistration があるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。 (jpcoar:identifierRegistration要素がない場合も含む)	① jpcoar:identifier@IdentifierType="DOI"が存在するとき、同じ [prefix]/[suffix]が jpcoar:identifierRegistrationに入力されていない。 (jpcoar:identifierRegistration要素がない場合も含む)	
					IdentifierType	FALSE	M	1								IdentifierType	DOI HDL URI	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
18	Identifier Registration	ID登録	jpcoar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	JalC除IDを登録する場合、記入する。IdentifierTypeには登録するサービス (DOIの場合はRegistration Agency) を以下の統制語彙から選択して記入する。 - JalC - Crossref - DataCite - PMID (現在不使用)	リポトリコンテンツの自身のIDはjpcoar:identifier (識別子) に記入する。"JalC"または"Crossref"を選択したスキーマのselfDOIに相当する。JalC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifierRegistration (識別子) だけでなく、jpcoar:identifier (識別子) IdentifierType="DOI"にDOIをHTTP URI形式で記入する。jpcoar:identifierRegistrationはJalCとのデータ連携のために使用される。	<jpcoar:identifierRegistration IdentifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcoar:identifierRegistration>	URIスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration IdentifierType="JalC">info:doi/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration> DOIのURL表記は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration IdentifierType="JalC">https://doi.org/10.1594/WDC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration>		JalC Crossref DataCite PMID (現在不使用)	jpcoar:identifierRegistration			①全角 -> 半角 ②先頭の"info:doi/"、"doi:"は削除する。			①IdentifierTypeが存在しない。 ②IdentifierTypeの語彙に存在しない。 ③IdentifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない (語彙別表参照)。 ④jpcoar:identifierRegistrationが存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]を持つDOIが jpcoar:identifier@IdentifierType="DOI"として入力されていること。 (IdentifierType="PMID"のときを除く) ⑤ IdentifierType="JalC/Crossref/DataCite"のとき、JalC DOI自体チェック		
					IdentifierType	FALSE	M	1								IdentifierType	JalC Crossref DataCite PMID (現在不使用)	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
19	Relation	関連情報	jpcoar:relation				0-N	登録するコンテンツと関連するコンテンツ間の関係性を記入する。relationTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。該当する語彙がない場合はrelationTypeを記入しない。 - isVersionOf - hasVersion - isPartOf - hasPart - isReferencedBy - references - isFormatOf - hasFormat - isReplacedBy - replaces - isRequiredBy - requires - isSupplementTo - isSupplementedBy - isIdenticalTo - isDerivedFrom - isSourceOf	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。コンテンツが図書の一部分 (章など) で、図書全体のタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。著者最終稿から出版者が付与したDOIにリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を使用する。	学術雑誌の著者最終稿から出版社版へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isVersionOf"> <jpcoar:relatedIdentifier IdentifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> リンク先のコンテンツに識別子がない場合 <jpcoar:relation relationType="isPartOf"> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中・高・大、日本人院生、外国人院生のティームティーチングによる支援</jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation>		isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf	jpcoar:relation			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。			

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック										
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング					
19.1	Related Identifier	関連識別子	jpcoar:relatedIdentifier			FALSE	R	0-1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例: <a href="https://doi.org/10.1594/WDCG/CCSRNIES_SRES_B2">https://doi.org/10.1594/WDCG/CCSRNIES_SRES_B2</a> (DOI))。IdentifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - ARK - arXiv - DOI - HDL - JCHUSHI - ISBN - J-GLOBAL - Local - PISSN - EISSN - ISSN (非推奨) - NAID - NCID - PMID - PURL - SCOPUS - URI - WOS	識別子が存在しない場合はjpcoar:relatedTitle (関連名称) を記入する。jpcoar:relatedIdentifierを記入する場合は、必須。IdentifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDはjpcoar:sourceIdentifier (収録物識別子) を使用する。IdentifierTypeに"ISSN"を付けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に限り使用される。	<jpcoar:relatedIdentifier IdentifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier>		ARK arXiv DOI HDL JCHUSHI ISBN J-GLOBAL Local PISSN EISSN ISSN (非推奨) NAID NCID PMID PURL SCOPUS URI WOS	jpcoar:relatedIdentifier								①IdentifierTypeが存在しない。 ②IdentifierTypeの語彙に存在しない。 ③IdentifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない (語彙別表参照)。			
19.2	Related Title	関連名称	jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	対象に識別子が存在する場合はjpcoar:relatedIdentifier (関連識別子) に記入する。該当する識別子が存在しない場合のみ記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指す中高大、日本人旅客、外国人院生のチームティーチングによる支援</jpcoar:relatedTitle>			jpcoar:relatedTitle								①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
20	Temporal	時間的範囲	dcterms:temporal		TRUE	O	0-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。所定のスキーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal> <dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal>		dcterms:temporal									①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)				
21	Geo Location	位置情報	datacite:geoLocation				0-N	コンテンツを収集した、またはコンテンツの内容の空間的情報を記入する。		ボックス状の空間的範囲を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationBox> <<datacite:westBoundLongitude>-> 71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude> 68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox> </datacite:geoLocation> 地名を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace> </datacite:geoLocation>		datacite:geoLocation													
21.1	Geo Location Point	位置情報 (点)	datacite:geoLocationPoint		FALSE	O	0-1	コンテンツが指す空間の一点を記入する。					datacite:geoLocationPoint								①datacite:pointLongitude、datacite:pointLatitudeが存在しない				
21.1.1	Point Longitude	経度	datacite:pointLongitude		FALSE	M	1	経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。				datacite:pointLongitude								①数値であり、-180~180の範囲外である。(小数あり)				
21.1.2	Point Latitude	緯度	datacite:pointLatitude		FALSE	M	1	緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。				datacite:pointLatitude								①数値であり、-90~90の範囲外である。(小数あり)				
21.2	Geo Location Box	位置情報 (空間)	datacite:geoLocationBox		FALSE	O	0-1	コンテンツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。		<datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude>-> 71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude> 68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox>		datacite:geoLocationBox											①datacite:westBoundLongitude、datacite:eastBoundLongitude、datacite:southBoundLatitude、datacite:northBoundLatitudeが存在しない		
21.2.1	West Bound Longitude	西部経度	datacite:westBoundLongitude		FALSE	M	1	西部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:westBoundLongitude								①数値であり、-180~180の範囲外である。(小数あり)				
21.2.2	East Bound Longitude	東部経度	datacite:eastBoundLongitude		FALSE	M	1	東部経度の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:eastBoundLongitude								①数値であり、-180~180の範囲外である。(小数あり)				
21.2.3	South Bound Latitude	南部緯度	datacite:southBoundLatitude		FALSE	M	1	南部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:southBoundLatitude								①数値であり、-90~90の範囲外である。(小数あり)				
21.2.4	North Bound Latitude	北部緯度	datacite:northBoundLatitude		FALSE	M	1	北部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90~90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:northBoundLatitude								①数値であり、-90~90の範囲外である。(小数あり)				
21.3	Geo Location Place	位置情報 (自由記述)	datacite:geoLocationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツが指す地理上の地点の名称を記入する。		<datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace>		datacite:geoLocationPlace													



JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック						
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入し べし	繰返回 数	説明	注視点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング	
30	Dissertation Number	学位授与番号	dcndi:dissertationNumber		FALSE	MA	0-1	学位授与番号を記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。学博士論文の場合は、学位記番号ではなく報告番号を記入する。	<dcndi:dissertationNumber>甲第5384号</dcndi:dissertationNumber>	科研費機関番号 (数字5桁) + [甲>A   乙>B   丙>Z] + 報告番号の形式 (Juni2 ver 3.0) は推奨しない。<dcndi:dissertationNumber>15301A5384</dcndi:dissertationNumber> 科研費機関番号 (数字5桁) + [甲 乙 ] + 第+報告番号+号の形式 (Juni2 ver 3.1) は推奨しない。<dcndi:dissertationNumber>15301甲第5384号</dcndi:dissertationNumber>	dcndi:dissertationNumber				①全角 -> 半角					
31	Degree Name	学位名	dcndi:degreeName		TRUE	MA	0-N	学位規則で定められている学位の種類と学位の分野を記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。国際流通を鑑み、英語名称を合わせて記入することを推奨する。各言語コードのdcndi:degreeNameの出現回数は1回までとする。	<dcndi:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dcndi:degreeName><dcndi:degreeName xml:lang="ja">博士 (文学)</dcndi:degreeName>	dcndi:degreeName				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
32	Date Granted	学位授与年月日	dcndi:dateGranted		FALSE	MA	0-1	学位授与年月日を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。	<dcndi:dateGranted>2016-03-25</dcndi:dateGranted>	dcndi:dateGranted				①全角 -> 半角	①日付の正規化			①YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ②MM-DDの妥当性チェック。(閏年含む)		
33	Degree Grantor	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor			MA	0-N	学位授与機関の情報を記入する。	共同大学府の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返して記入する。	<jpcoar:degreeGrantor><jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreeGrantorName></jpcoar:degreeGrantor><jpcoar:degreeGrantor nameIdentifierScheme="kakenhi">3265332689</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName></jpcoar:degreeGrantor>	共同大学府をひとつのjpcoar:degreeGrantorに記入することは推奨しない。<jpcoar:degreeGrantor nameIdentifierScheme="kakenhi">3265332689</jpcoar:nameIdentifier><jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学早稲田大学</jpcoar:degreeGrantorName></jpcoar:degreeGrantor>	jpcoar:degreeGrantor									
33.1	Degree Grantor Name Identifier	学位授与機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	学位授与機関と一緒に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が必須。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	jpcoar:nameIdentifier				①全角 -> 半角			①語彙別のフォーマットを満たしていない。(語彙別表参照) ②nameIdentifierSchemeが存在しない。		
			nameIdentifierScheme	FALSE	M	1	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換														③語彙に存在しない。
33.2	Degree Grantor Name	学位授与機関名	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	0-N	学位授与機関の名称を記入する。学位授与機関名の言語情報はxml:langに記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学</jpcoar:degreeGrantorName><jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>	jpcoar:degreeGrantorName				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
34	Conference	会議記述	jpcoar:conference			R	0-N	会議情報を記入する。		<jpcoar:conference><jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName><jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence><jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor><jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate><jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue><jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace><jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry></jpcoar:conference>	jpcoar:conference										
34.1	Conference Name	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	0-N	会議名を記入する。	各言語コードのjpcoar:conferenceNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>	jpcoar:conferenceName				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
34.2	Conference Sequence	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	0-1	会議の回次を記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence>	jpcoar:conferenceSequence										
34.3 (ver.1.0 2のみ)		主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	0-N	会議を主催する機関名を記入する。	会議の開催会場はjpcoar:conferenceVenueに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceSponsorの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>	jpcoar:conferenceSponsor				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
34.4 (ver.1.0 2のみ)		開催期間	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	0-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日を年 (YYYY) 、月 (MM) 、日 (DD) の形式で各属性に、表示用の開催期間を値に記入する。機械可読可能な日付 (厳性) と表示用の開催期間 (値) の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。	会議の開催が1日のみの場合は、属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。 値または属性のいずれかみの場合<jpcoar:conferenceDate startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016" /><jpcoar:conferenceDate xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>												
			startDay	FALSE	MA	0-1															
			startMonth	FALSE	MA	0-1															
			startYear	FALSE	MA	0-1															
			endDay	FALSE	MA	0-1															
			endMonth	FALSE	MA	0-1															
endYear	FALSE	MA	0-1																		
34.5 (ver.1.0 2のみ)		開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	0-N	会議が開催された会場を記入する。	会議の主催機関はjpcoar:conferenceSponsorに記入する。各言語コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>	jpcoar:conferenceVenue				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			
34.6	Conference Place	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	0-N	会議の開催地を記入する。	会議の開催地はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>	jpcoar:conferencePlace				①全角 -> 半角 (xml:langのみ) ②語彙に合わせた大文字小文字の変換 (xml:langのみ)	③言語コードの変換 (xml:langのみ)		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録になる)			

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック					
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レ ベル	繰返回 数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
34.7	Conference Country	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	0-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry>			jpcoar:conferenceCountry			①全角 -> 半角 ②英小文字 -> 英大文字			③ISO 3166-1 alpha-3形式になっていない。(語彙に存在しない)	

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧										JPCOARスキーマVer.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック									
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング				
35	File	ファイル情報	jpcoar:file			MA	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<pre>&lt;jpcoar:file&gt; &lt;jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf" &gt;http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf &lt;/jpcoar:URI&gt; &lt;jpcoar:mimeType&gt;application/pdf&lt;/jpcoar:mimeType&gt; &lt;jpcoar:extent&gt;3MB&lt;/jpcoar:extent&gt; &lt;jpcoar:extent&gt;15 pages&lt;/jpcoar:extent&gt; &lt;date: date dateType="Issued"&gt;2015-10-01&lt;/date: date&gt; &lt;/jpcoar:file&gt; &lt;jpcoar:file&gt; &lt;jpcoar:URI objectType="other" label="supplimental data" &gt;http://xxx.xxx.xxx/xxx/researchdata.zip&lt;/jpcoar:URI&gt; &lt;jpcoar:mimeType&gt;application/zip&lt;/jpcoar:mimeType&gt; &lt;jpcoar:extent&gt;3MB&lt;/jpcoar:extent&gt; &lt;date: date dateType="Created"&gt;2016-01-01&lt;/date: date&gt; &lt;date: version&gt;1.2&lt;/date: version&gt; &lt;/jpcoar:file&gt;</pre>			jpcoar:file											
35.1	URI	本文URL	jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1	コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。	contentTypeはURLがある場合は必須。博士論文の場合、要約はsummary、要旨はabstractを使用する。論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<pre>&lt;jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf"&gt;http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar/files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf &lt;/jpcoar:URI&gt; &lt;jpcoar:URI objectType="dataset" label="supplemental data"&gt;http://xxx.xxx.xxx/xxx/researchdata.zip&lt;/jpcoar:URI&gt;</pre>		abstract dataset (ver.1.0.2のみ) fulltext software (ver.1.0.2のみ) summary thumbnail other	jpcoar:URI			①全角 -> 半角					①URI形式チェック。			
			objectType	FALSE	MA	0-1	contentTypeは以下で選択して記入する。 - abstract - dataset - summary - fulltext - software - thumbnail - other labelはファイル名がある場合、記入する。						objectType	abstract dataset fulltext software summary thumbnail other		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①語彙に存在しない。				
			label	FALSE	O	0-1								label										
35.2	Format	フォーマット	jpcoar:mimeType		FALSE	R	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANAに登録されている MIME メディアタイプから選択することを推奨する。	コンテンツの種類はdc:type (資源タイプ) を使用する。コンテンツの分量はjpcoar:extent (サイズ) を使用する。	<pre>&lt;jpcoar:mimeType&gt;application/pdf&lt;/jpcoar:mimeType&gt; &lt;jpcoar:mimeType&gt;application/zip&lt;/jpcoar:mimeType&gt;</pre>	MIMEメディアタイプ以外の形式で記入してはならない。 <jpcoar:mimeType>pdf</jpcoar:mimeType>	jpcoar:mimeType			①全角 -> 半角					①MIME Typeの形式チェック (英数字、"-",".",":","+",":","/","のみのみ、先頭と末尾以外に1つ以上の"/"。)				
35.3	Extent	サイズ	jpcoar:extent		FALSE	O	0-N	ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。自由記述。但し数値はアラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart (開始ページ)、終了ページはjpcoar:pageEnd (終了ページ) を使用する。	<pre>&lt;jpcoar:extent&gt;3MB&lt;/jpcoar:extent&gt;</pre>		jpcoar:extent												
35.4	Date	日付	date: date		FALSE	MA	0-N	個別ファイルに関連する日付を記入する。日付はISO-8601で規定する次の3形式 (YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY) で記入する。dateTypeには以下の情報種から選択して必ず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	dc:terms:accessRights (アクセス権) で "embargoed access"を指定し、コンテンツ本体の単位でエンターゴ期間が異なる場合、dateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <date: date dateType="Issued">2015-10-01</date: date> エンターゴ終了後の利用開始日 <date: date dateType="Available">2016-01-01</date: date>	dateTypeを省略してはならない。 <date: date>2015-10-01</date: date> 不明な年を記入してはならない。 <date: date dateType="Issued">19--</date: date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	date: date			①全角 -> 半角	②日付の正規化			①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ④MM-DDの妥当性チェック。(閏年含む)				
			dateType	FALSE	M	1							dateType	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid		①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換								
35.5	Version	バージョン情報	date: version		FALSE	O	0-1	データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"."マイナーバージョン番号"の形式で記入する。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に由バージョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のバージョン情報についてはdate: version (バージョン情報) またはoaire: version (出版タイプ) を使用する。	<pre>&lt;date: version&gt;1.2&lt;/date: version&gt;</pre>		date: version			①全角 -> 半角				①[0-9]+.[0-9]+の形式以外である。([数字][ピリオド][数字]の組み合わせ以外エラー)					